



中南支部主催 リモート支部会 「“ソーシャルワーク脳”とコロナ禍」講師：小川 幸裕氏と参加者

あomorい 社会福祉士会 だより

第58号.



中南支部リモート支部会 報告

中南支部スタッフ 中村 直樹

9月16日(水)18:30より「中南支部リモート支部会」が開催され、会員19名が参加しました。当日はZoomアプリケーションを活用し、「“ソーシャルワーク脳”とコロナ禍」と題して、講師に小川幸裕氏(弘前学院大学)、コーディネーターとして中村直樹(弘前医療福祉大学短期大学部)がそれぞれ務めました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響から、それまでなかなか開催できなかった支部会でしたが、なんとか会員相互のつながりを維持する活動を続けるために企画を進めてまいりました。今回のコロナ禍は、医療や経済をはじめ、多種多様な領域を巻き込み、私たちに意識と行動の変容を求めてきていることから、当日は、小川氏より「コロナ禍をとらえる話題」として「政策」「教育」「地域」「医療」の4点について話題提供いただき、その後で参加した会員より、職種や関係するクライアント別に意見交換の場を設け、コロナ禍におけるソーシャルワーカーの役割について談義を深めました。

参加した会員らは、「生活崩壊し困難を抱える方からの相談対応の難しさ」や「地域・分野を超えた、多様性を帯びた支援の必要性」など、職務上で実際に起こっている事柄を紹介し合いながらの活発な議論が行われ、とても有意義な時間を過ごすことができたように思います。

感染症蔓延が早期に収束し、また直接、顔の見える支部会を開催できる日を心待ちにしつつ、中南支部ではしばらくの間、定期的にリモートで情報交換を実施する予定です。他支部の方も含め、ぜひご参加ください!

青森県社会福祉士会 中南支部 主催



リモート支部会

2020年9月16日(水) 18:30~20:00

講師：小川幸裕氏(弘前学院大学) コーディネーター：中村直樹(中南支部スタッフ)

新型コロナウイルス感染拡大の影響から、なかなか開催できなかった支部会。社会福祉士会でもなんとか活動を再開できないかと試行錯誤しております。何はとあれ、ひとまず、リモートでの支部会を企画してみたいと思います。

運営は、スマートフォン・パソコン共に「Zoom」をダウンロードしていただき、ぜひ当日、オンライン上で、お会いいたしましょう！他支部の方も大歓迎！皆様のご参加をお待ち申し上げます。

研修テーマ

【“ソーシャルワーク脳”とコロナ禍】

今回のコロナ禍は、医療や経済をはじめ、多種多様な領域を巻き込み、私たちに意識と行動の変容を求めてきていることから、当日は、小川氏より「コロナ禍をとらえる話題」として「政策」「教育」「地域」「医療」の4点について話題提供いただき、その後で参加した会員より、職種や関係するクライアント別に意見交換の場を設け、コロナ禍におけるソーシャルワーカーの役割について談義を深めました。

使い方は

無料でご参加いただけます。
※Zoomアプリは、事前にダウンロードしていただく必要があります。
※Zoomアプリは、事前にダウンロードしていただく必要があります。

参加方法

1. 準備資料(会費)をメールにて(お申し込み)をお知らせいたしますので、そちらをダウンロードしてご確認ください。
2. 当日は、Zoomアプリを起動し、お申し込みのURLにアクセスしてください。
3. 当日、Zoomアプリを起動し、お申し込みのURLにアクセスしてください。Zoomアプリを起動し、お申し込みのURLにアクセスしてください。

参加方法

1. Zoomアプリを起動し、お申し込みのURLにアクセスしてください。

2. Meeting IDを入力し、参加してください。

3. Meeting IDを入力し、参加してください。

コロナ禍の中、令和2年度基礎研修Ⅰを開催

～三密回避に苦心～

生涯研修事業運営委員会 中河原 恵美子

コロナ禍ではありますが、9月20日、県民福祉プラザにおいて基礎研修Ⅰが開催され、28名の方が受講しました。

コロナウイルス感染対策のため会場に利用人数制限があり、残念ながら数名の方は、次年度受講して頂くことになりました。

今回は、コロナウイルス対策が加わり、私たち運営委員は朝からバタバタ状態でした。

受付で体調チェックシートを提出して頂き体調を確認、会場上方の窓を常に開放して換気し、長テーブルは二人掛けにする等、三密対策を徹底しました。接触感染防止のため手指消毒と除菌シートを用意し、使用するマイクを次の人に渡す前に除菌シートでしっかり拭く等、現時点で出来る対策を行いました。

今年の基礎研修Ⅰは、e-ラーニングの導入、動画による講義等、例年とは違う研修形式になりました。グループワークは密集を避けるため二つの会場に分かれて行い、KJ法もグループメンバーが頭を突き合わせる事のないよう、受講者の一人がホワイトボードの前に立ち、メンバーの意見を確認しながら付箋を貼り直すようにしましたが、議論が白熱してくると、ソーシャルディスタンスが危うくなる場面もありました。



研修最後に全グループが発表し、互いの意見を共有できたことは、大きな学びになったことと思います。

何はともあれ、皆様のご協力により、無事一日目を終えることができました。二日目(12月13日)も全員揃って受講できることを願っています。



知ってました？生涯研修制度の改正

～単位が取りやすくなりました～

2020年度からの主な改正内容は次のとおりです。

	従来	2020年度から
対象となる研修等の主催者の拡大	日士会・県士会主催研修受講や、国・自治体・社会福祉士主催の講師経験のみ	ソーシャルワークに関するものであれば、主催者を問わず認める。
学会発表、論文執筆、学会への参加の扱い	制度上あっても、単位として扱っていなかった。	
全国大会の学会参加単位の引き上げ	1単位	2単位

また、従来「生涯研修制度独自の研修・実績」では、①研修修了、②研修講師、③論文執筆・学会報告、④会での活動、⑤その他の5つの分野ごとに年間1単位までしか認められませんでした。これが撤廃されました。各種の研修をどんどん受けて修了するだけでも、単位取得が進みます！

日本社会福祉士会書面評決説明会

日士会は、コロナ感染防止のため総会に替えて書面評決により議決することとし、各都道府県士会への議案の説明が2020年6月20日(土)にオンラインで行われました。

3本の審議事項(2019年度決算報告、定款変更、倫理綱領改定)、8本の報告事項(2021年度予算・制度に関する国への提案書、2019年度声明・見解、関係行政機関への意見・要望等の状況など)が説明され、審議事項は各都道府県士会からの書面によりすべて承認されました。

報告の中で、ソーシャルワークを考える政治的アプローチについて、都道府県社会福祉士会と福祉専門職支援議員連盟の協力を強化する方向で協議を重ねること、また、厚労省ワーキンググループが、国家資格化を検討している子ども家庭福祉士(仮称)について、日士会は新たな国家資格ではなく任用資

格とすることを提案していると、説明がありました。

また、準備の終盤で中止となった2020年度全国大会(高知大会)は開催実績として残すこととし、2021年度の山形大会は開催の方向で準備を進めるが、オンライン活用等も含め開催方法を検討するとの説明がありました。

さらに、日士会「財政・事務局強化プロジェクトチーム」から、とりまとめ中の「入会促進・退会抑制」「事務局機能の支援」等について報告がありました。また西島会長から、ソーシャルワーカーのアイデンティティを強固なものとするため、将来構想として組織統合(団体統合)、資格統合も含めて取り組むことが重要との共通認識のもと、SW4団体が各覚書を交わす方向であるとの説明がありました。※議事録は、日本社会福祉士会の会員専用HPで閲覧できます。(編集部)

令和2年度定時総会を終えて

事務局次長 宇佐美 大輔

令和2年5月31日、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、可能な限り出席を見送っていただく形で定時総会が開催されました。

審議事項として、令和元年度事業報告および決算報告について審議し、満場一致で承認されました。また、報告事項として、第2期中期計画の点検・評価、個人情報保護方針、令和2年度事業計画書および収支予算書について説明されました。令和元年度決算については、新型コロナウイルスの影響などにより、公益目的事業の収支が約130万円の黒字となり、収支相償が保たれていないものの、令和2年度以降に、計画的な解消を図る旨の説明がありました。

今回は、新たな試みとしてYouTubeによるライブ配信も取り

入れてみましたが、来年度こそは、会員のみなさまとお会いできることを楽しみにしています!



「社会福祉士の倫理綱領」15年ぶりに改定

2020年6月30日、日本社会福祉士会総会に代わる書面評決によって、「社会福祉士の倫理綱領」の改定が採択されました。国際ソーシャルワーカー連盟が2014年7月に「ソーシャルワークの定義」を見直し、各地域・各国で展開してもよいとされたことから、2016年6月には「アジア太平洋地域における展開」、2017年7月には「日本における展開」が制定されたのちに倫理綱領の改定を行うとされていたものです。

前文では、社会福祉士が拠って立つ原理として、グローバル定義に盛り込まれた「集団的責任」「多様性の尊重」について触れ、「人々がつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現をめざす専門職」との言及が加えられました。

「価値と原則」の項目は「原理」と改められ、従来からの「人間の尊厳」「社会正義」のほかに、「人権」「集団的責任」「多様性の尊重」「全人的存在」の4つの原理が示されました。「人間の尊厳」の項では、その差異が尊厳に関わらない例示として「民族」「国籍」

「性自認」「性的指向」が追加されました。

「倫理基準」の項目では、「参加の促進」（クライアントが自らの人生に影響を及ぼす決定や行動のすべての局面において、完全な関与と参加を促進する）が新たに加わりました。

組織・職場に対する倫理責任としては、「組織内アドボカシーの促進」（虐待または差別的・抑圧的な行為の予防及び防止の促進を図る。）、「組織改革」（組織・職場の機能を評価し、必要な改革を図る。）が新たに盛り込まれました。

なお、従来「利用者」とされていた箇所は「クライアント」に置き換えられました。注記では「ソーシャルワークが必要な人々」等とされ、潜在的対象者も視野に入れています。

詳しくは、日本社会福祉士会ニュース2020年9月号をご覧ください。日士会では、改定倫理綱領にもとづき「社会福祉士の行動規範」についても、今後改定を行うこととしています。（編集部）

書評「福祉課題への挑戦～青森の未来へ」（2020）

会長 鳴海 春輝

このたび、青森県立保健大学の若い教員たちを中心とした研究活動の一端が「福祉課題への挑戦～青森の未来へ」と題して泰斗舎から出版されました。

本書は3部構成（現状、実践、学生の活動）になっており、本県の過去から現在そして未来を個別ストーリー（第1章から15章まで）で繋いで見せてくれます。是非とも手に取って、活動の中心となった青森県福祉課題研究会の真摯な思い「青森県内の優れた実践を記録し、学生や他の実践者に伝えたい」を受け止めていただきたいと思います。

以前、私は青森県社会福祉研修所（廃止となり保健大に継承）に

勤務していたので、第10章の県職員の日本社会事業専門学校への給費生派遣の事実を紹介している記事は、若い人にも知ってもらいたいと常々思っていました。誠にうれしい限りであります。

執筆陣の顔ぶれを見ると、私の知っている方々だけに、また、その一部は本会会員でもあることから、大学の研究室で会員相互に報告し合い、議論を積み重ねてきた様子が行間から伝わってきます。身内の気分でハラハラしながらも、充実感と希望を胸に読ませていただきました。

きっと、あなたにも青森の未来が見えてくる！



泰斗舎刊（定価 1,500 円）

私のおススメ☆



「健康で文化的な最低限度の生活」(柏木ハルコ 著/小学館コミックス)

小学館のビッグコミックスピリッツで、現在も連載中の漫画です。2018年にはフジテレビ系でテレビドラマ化もされたので、ご存じの方も多はず。

新卒公務員の主人公が、生活保護ケースワーカーとして、様々な問題を抱える被保護者と向き合い、葛藤や苦悩を抱えながら成長していきます。

多重債務や母子家庭、アルコール依存等、様々な事情から絶望や恐怖心を抱えて心を開かない対象者に、自分本位の支援で追い詰めていたことに気づくなど苦悩しながら、「関わり続けること」を深めていく過程は、深く考えさせられます。

ストーリー中に世帯認定や収入認定等について厚労省の「生活保護手帳」の内容を引用した解説が織り込まれ、制度の理解を助けるものになっています。財政支出を抑えようとする係長、被保護者を蔑む同僚など、職場の人間関係もリアルに描かれています。巻末には、先輩ワーカーが語る生活保護制度の解説ページがついています。

生活保護の理解を深めたい方に、読んでいただきたいコミックです。
(東青支部 ワーカーホリック)



本県人口 10 万人あたり会員数は
51.77 人 (全国 11 位)

日士会の「事務局月報」(日士会会員専用 HP で閲覧可能)に、「人口 10 万人あたり会員数」が都道府県別に示されています。(全国平均 34.95 人。2020 年 10 月末現在)。地域での会員の存在の指標として、今後当会報にも掲載します。
(編集部)



会員からの特ダネ！コーナー 訪問福祉理容師ってご存じ？

あなたが支援している方に、床屋に行けなくて困っている方はいませんか？身体状況や障害特性に応じた対応について研修を受けた訪問福祉理容師が、高齢者や障害者の自宅や施設に訪問して、散髪をしてくれます。料金は理容師さんによって異なります。

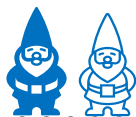
詳しくは青森県理容生活衛生同業組合

(電話 017—734-8437) へ。

①「会員からの特ダネ！」 あまり知られていない社会資源をお知らせください！地域限定でも OK！(情報は編集部で確認の上掲載します。)

②「私のおススメ！」 福祉に関する本、小説・コミック、映画等をご紹介します。

編集部初の試み！会員の皆様から情報をいただき紙面づくりを進めます。会員仲間に知らせたい社会資源や、読んでほしい本などありましたら、会の事務局までメール電話等でどしどし情報をお寄せください。(紙上匿名 OK)



新コーナーへの情報募集中!!

メールアドレス登録のお願い★

本会では、会員の皆様に必要な様々な情報を、メールで配信しております。

入会申込書にメールアドレスの記載がなかった方は、アドレスの登録がされておられませんので、事務局あてにメールでお知らせください。

また、アドレスが変更になった方についても事務局までお知らせいただければ幸いです。



新入会員のご紹介（令和2年5月～令和2年10月）

東青支部	熊澤奏恵	横山貴俊	佐藤唯香	木村真奈美	脇坂吉子	高橋侑美		
中南支部	小山内駿太	竹谷美和子	三上純	石田恭司	須藤規武	栗田翔馬	工藤高	佐々木直通
	白鳥麻衣子	森山玲香						
三八支部	小渡優子	鳥越利加子	野添京子	日野沢理乃				
上十三支部	櫻庭望	吉田晴香	小泉悦子	小泉公香				
下北支部	大谷直	藤井茜	工藤圭水					

入会歓迎！よろしくお願ひします



information

●会員数情報

令和2年10月31日現在

- * 会員数 645名
- * 入会率 31.17%（全国2位）

●寄付金情報

令和2年4月～令和2年10月末

- * 件数 4件
- * 92,625円

御支援いただきありがとうございます。

●会員専用ページをご覧ください

- * 本会ホームページには会員専用ページがあります。トップページ画面右上の「会員専用」タブをクリックし、IDとパスワードを入力すれば閲覧できます。
- * 会員専用ページへのアクセス方法は、同封しているお知らせをご覧ください。

●2021年度の会費の納入について

- * 2021年度の会費の引落しは、令和3年4月12日となりますので、引落日が近くなりましたら口座の残高をご確認いただきますようお願いいたします。
- * 引落口座を変更される方は、お早めに事務局までご連絡ください。こちらから手続きの用紙を送付させていただきます。
- * なお、4回連続で引落しがされなかった場合には、口座が停止になりますのでご注意ください。

●住所、職場等会員情報の変更がある方へ

- * 氏名・住所・勤務先・所属都道府県社会福祉士会等に変更が生じましたら、会員情報を変更いたしますので、事務局へ変更届を提出してください。
- * 本会ホームページの会員専用ページ上の事務局「入退会・変更届」をダウンロードして記入し、日本社会福祉士会、又は本会事務局までFAXをお願いします。

ご不明点等ございましたら事務局までお問合せください。

●会員証再発行申請書が新しくなりました

- * これまで、会員証再発行手数料は、定額小為替と口座振込のいずれかを選択できるようにしていましたが、今後は口座振込のみに変更となります。こちらも本会ホームページ会員専用ページ 事務局に掲載しておりますのでダウンロードしてお使いください。

●支部長、委員長・部会長様へ

- * コロナ禍で支部会や委員会・部会の活動が予定通りに実施できないことも多いかと思ひます。
- * 本会はzoomアカウントを取得しました。支部会、勉強会等で、積極的にご活用いただきたいと考えています。開催を予定している支部、委員会・部会がございましたら、事務局までご連絡ください。

【編集後記】

無事に、会報が出来上がりました。いつもご協力ありがとうございます。変化に対応していくことは得意ではないのですが、自分のペースで進んでいきたいと思ひます。会報も少しでも皆様に興味を持ってもらえるように、進化していきたいと思ひています。どうかあなたの目にとまりますように。

発行日 令和2年12月1日

発行人 鳴海春輝

編集 青森県社会福祉士会
中期計画活性化委員会

公益社団法人青森県社会福祉士会

〒030-0822

青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ内

TEL 017-723-2560 FAX 017-752-6877

<http://www.aacsw.or.jp>

E-mail aacsw@nifty.com